

## 飛せつびらんに注意

飛せつびらんは  
どんな病気

ウサギには足のうらに犬や猫のようなフットパッド(足のうらの軟らかい部分)がなく、全部毛でおおわれています。そして人間のようにかかとをつけて歩行するため、かかるとに皮膚炎や潰瘍を起こすことがあります。これを飛せつびらんといいますが、ソアホック、足底皮膚炎、足底潰瘍ともいわれています。

床につくかかとの近くに起こるのですが、前肢のうらに起こることもあります。

どんなウサギが飛せつびらんになりやすいかといえますと、遺伝的に足のうらの毛や皮膚の厚さが薄いウサギ・大型または肥満のウサギ・高齢のウサギ・1ヵ所で動かないウサギなどです。

この病気を起こしやすいのは、足のうらが刺激を受けやすい硬い床(特に金網のもの)・湿った床・不潔な床などです。

### 飛せつびらんの症状

初めはごく小さな脱毛と赤くなっているくらいの症状ですが、すでに感染を受けやすくなっています。そのような皮膚炎から、びらん(ただれること)、潰瘍とすすみ、なかには皮膚が腐ったり、膿がたまったりします。

症状は大小さまざまで、ふつうは丸く、かさぶたができてとても硬くなることが多いのですが、出血することもあります。

膿瘍(うんでくること)ができると、痛いので落ち着きがなくなったり、足をひきずったり、変な姿勢をとったりします。

さらに病気がすすむと食欲がなくなり、体重が減っていきます。

重症になりますと、ブドウ球菌などの細菌が血液に入り血流によって他の臓器に運ばれ、内科的な病気になってしまい、命にかかわることもあります。

### 飛せつびらんの治療

治療はウサギに対して行うとともに、床材を改善することです。

まずウサギの飛せつびらんになっている部分をきれいに洗い清潔にし、消毒します。感染がある場合は抗生剤を投与し、足にも抗生剤の軟膏などをつけます。足の皮膚を保護するため、外科用の接着剤でコーティングすることもあります。肥満のウサギは体重を減ら

し、足への負担を少なくしましょう。

次に床材ですが、金網はやめて、柔らかく乾燥した床敷にしましょう。吸湿性のあるものを厚めに敷き、まめに取り替えましょう。カラー印刷していない古新聞は、保湿性・吸水性もよく、少しかじられても比較的安心です。タオルや布は爪がひっかかったり、かじったりするので注意が必要です。

いくら薬による治療を完璧にしても、原因になりやすい金網の床をそのままにしているとなかなか治りません。根気よく治療をするとともに、床材などへの目配りも忘れませんように。

### 飛せつびらんの予防

予防のポイントもウサギ自身の健康と、床材の改善・整備です。

ウサギは肥満になると、足に重みがかかるとともに動きが悪くなります。たえず圧力がかかり、飛せつびらんを起こしやすくなります。体重をまめに測り、太らせないようにしましょう。また高齢になると皮膚の弾力や細菌に対する抵抗力も落ち、この病気にかかりやすくなりますので、体力や免疫力がアップするように、栄養のバランスや環境を整えましょう。

床材ですが金網はやめて平らなものにし、敷ワラや新聞を厚めに敷いた吸湿性をよくした床敷きにし、いつも乾いた状態にして、定期的に交換しましょう。

これは一度かかると治りにくい病気なので、日頃から正しい環境で飼いましょう。汚い小屋で飼っていると細菌の感染などが起きやすくなります。小屋が小さいと運動不足になり、やはりこの病気にかかりやすくなります。広めの小屋で床を清潔にし、乾燥させた状態で飼うことをおすすめします。

### コラム エコアニマル

先日、ある会合で友だちになった名古屋の人に「イラスト描いてもらえないかなぁ」と頼まれました。よく聞いてみると、彼は環境問題に取り組んでいて、名古屋の街のエコを探そうという本の表紙を私に描いてほしいというのです。

ご存知のように地球は、オゾン層の破壊、温暖化、酸性雨、海や川の汚染、熱帯林や野生動物の消滅など、環境破壊が進んできています。

私たち獣医師は人と動物の橋渡しをしているので、空・海・大地を守らないと、結局は動物や子どもたちが住みにくくなってしまいます。そんな理由でわが家は昔からエコファミリー、エコロジカルライフなのです。

子どもたちが小さい頃は、全員でおフロに一緒に入りました。水も少なくていいし、わ

かし返す必要もないし、省エネだから（何を隠そう極貧の極意なのですが）歯をみがいているときに水を止めるのもそのひとつ。トイレだって「うんちくらべ」というイベントに仕立てて、年子3人「わー今日はまゆちゃんのがいちばん」ジャーって感じで、3人分を1回で流していました。

さて、私のポリシーは「世のため人のため動物のためをモットーに生きる」です。そのため、とんでもない仕事以外はOKしているので、早速エコのイラストを描き始めました。

マイカーやめてマイ自転車、木の家を作る人、有機栽培の野菜の直売所、屋上の緑化、マイはしやマイバッグを使おう、レジ袋お断り、ソーラー発電、どんぐりを植えて森を増やそう、牛乳ビン大好き、再生紙のトイレットペーパー、リサイクルにいこう、エコクッキング……とあれこれ考えていると、わが家のウサギのプーが、「早くごはんにしてよ！」と食器をガタガタやって怒っています。トントンとスタッピングも始めました。

あっ、もしかしてプーってエコアニマルだ。なぜって捨てるはずのリンゴの皮、大根の葉、ニンジンの皮食べて体の中で栄養にかえてフンは庭にまけば有機肥料となるからです。気のせいかな、うちのカタバミのピンクはよそのより濃い感じがかわいい。プーのおかげで私のエコ回路にニュー発想！ というわけでエコアニマル「プー」のイラストも添えました。

このごろウサギが増えている理由のひとつにこんなこともあるのかも!? ”環境に優しいエコアニマルを飼おう“なんてキャッチコピーどうかなあ、みんなでエコ論議のわが家です。